

「リスクアセスメント研修会」の開催について

岐阜労働基準監督署(署長 早野 康治)は、下記により管内の第三次産業の事業者に対して「リスクアセスメント研修会」を開催します。

当署管内の平成 22 年における休業 4 日以上の労働災害発生状況は、637 件(1 月末現在の速報値)と前年同期の 654 件と比べ、17 件減少しており、死亡災害の発生状況は 5 件と前年の 6 件と比べ 1 件の減少となっています。

しかしながら、商業、保健衛生業等の第三次産業における平成 22 年の休業 4 日以上の労働災害発生状況は、261 件(1 月末現在の速報値)と前年同期の 232 件と比べ 29 件の大幅増加となっており、第三次産業における労働災害防止対策が重要な課題となっております。労働災害の防止のためには発生した災害に対する再発防止対策のみならず、災害が発生する前に事業場に潜んでいる危険の芽(リスク)を発見し、その低減措置を講じるというリスクアセスメントの実施が非常に重要となります。

このような中で、リスクアセスメントの周知と導入促進のため下記のとおり研修会を開催することとしました。

記

1. 日 時 平成 23 年 2 月 16 日(水)
午前の部：午前 9 時 30 分から午前 12 時 00 分頃まで
午後の部：午後 1 時 30 分から午後 4 時 00 分頃まで
2. 場 所 県民文化ホール未来会館 5 階大会議室
岐阜市学園町 3 丁目 4 2 番地
3. 研修内容 ・リスクアセスメントの進め方等について
・簡単な事例に基づくリスクの評価・低減対策の手法について
4. 参加者 当署管内の第三次産業の事業場の事業者・安全管理担当者
(午前・午後、各 60 名程度参加予定)